

ラオスへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2024年12月19日（継続/内容の更新）

サイソンブン県全域、 シェンクワン県のサイソンブン県との一部県境周辺 地域	〔レベル2〕 「不要不急の渡航はやめてください。」（継続） その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。 渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。
上記以外の地域（首都ビエンチャンを含む。）	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続） その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けたため特別な注意が必要です。

【ポイント】

- サイソンブン県全域及びシェンクワン県のサイソンブン県との一部県境周辺地域では、反政府勢力と政府軍との間で衝突事案が発生しています。同地域では、過去に銃や爆発物を用いた襲撃事件等により民間人の死傷者も出ています。また、同県境周辺地域であるシェンクワン県ブークート郡南部では、2019年に開発工事に関わる中国人関係者に対する銃撃事件が散発しました。これらの事件の犯人及び動機等は明らかになっておらず、反政府勢力による犯行の可能性も否定できません。不測の事態に巻き込まれる可能性が排除できないため、これら地域への不要不急の渡航は止めてください。
- ミャンマー及びタイと国境を接しているボケオ県の経済特別区において、外国人に高額な報酬等の好条件を提示してラオスに渡航させ、現地で詐欺行為を働く求人詐欺が多発しています。このような被害に巻き込まれることがないよう、情報をよく確認して十分注意してください。
- 2023年6月、日本国内で、SNSを通じて高額な報酬等の好条件を提示し、ボケオ県の経済特別区内での性風俗営業に従事する女性の求人情報が発信されました。こうした求人は、応募した女性従業者が強制労働や監禁、人身売買等の犯罪被害に遭う可能性が否定できません。このような求人に限らず、ラオスでの雇用契約の際は、現地情勢を十分に理解し、業務地、業務内容及び雇用先企業を十分確認し、騙されないように注意してください。

【概況】

- (1) サイソンブン県全域及びシェンクワン県のサイソンブン県との一部県境周辺地域では、反政府勢力が活動しており、政府軍との間で死者が出る衝突があつたとされています。2022年4月の反政府勢力と政府軍との銃撃戦で双方に死傷者が出ました。
- (2) シェンクワン県及びサイソンブン県では、過去に民間人が犠牲となる事件が発生しています。2019年8月から12月にかけてシェンクワン県ブークート郡南部地域では、開発工事に関わる中国人が銃撃される事件が散発しました。また、サイソンブン県内では、2016年1月に車両が爆破されて中国人3名が死傷、2017年6月に銃撃により中国人が死亡しています。いずれの事件も犯人及び動機等は明らかになっておらず、反政府勢力による犯行の可能性も否定できません。
- (3) 近年、ラオス国内では拳銃を使用した犯罪が増加傾向にあります。2022年6月に、ビエンチャン・バンビエン高速道路を走行中の車両2台が拳銃で撃たれ、3名が重軽傷を負う事件が発生しました。その他、強盗や些細なトラブルによる発砲事件、違法薬物組織のトラブルによると思われる拳銃による殺人事件等が頻発しています。

テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロに巻き込まれることがないよう、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。

また、テロや誘拐に関する情報については、テロ・誘拐情勢（https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_020.html）も参照してください。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ : <http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbright.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。